

死亡野鳥等調査個票<死亡個体発見～遺伝子検査（ウイルス分離検査）まで>				
発見	発見場所	都道府県	A 県	
		市町村等	B 村（D湖畔）	
		緯度経度(十進法)		
		環境	河川・湖沼・海上・海岸・耕作地・森林・民家等建物の敷地・ その他（ ）	
	発見日時	発見日	2008/1/30	
		発見時刻	11:00	
	発見鳥類	種類	オオハクチョウ	
		発見羽数	2	
		性別・年齢区分		
		状態 ※1	衰弱個体が死亡、損傷が激しい	
発見者	氏名	鳥山鴨夫		
	所属	鳥獣保護センター職員（巡視中）		
回収・ 収容	回収場所	場所	〇〇ダム	
		管理者	〇〇ダム管理事務所	
	回収日時	回収日	2008/1/30	
		回収時刻	12:00	
	回収者	氏名	鳥山鴨夫	
		所属	鳥獣保護センター職員（巡視中：発見者に同じ）	
	接触者	氏名		
		連絡先		
	回収方法	ビニール袋で3重に密封（ビニール外側消毒済み）		
	収容先	家畜保健衛生所		
処分	方法	焼却		
	処分日			
	場所	家畜保健衛生所		
採材	検体番号	6002A001		
	採材羽数	回収〇羽中、〇羽		
	採取部位 ※2	C：クロアカ	1	
		T：気管/咽喉頭	1	
簡易 検査	実施者	家畜保健衛生所		
	検査日 ※3	2008/2/1		
	結果 (C)	陰性・陽性	陰性	
	結果 (T)	陰性・陽性	陰性	
A型遺伝子 検査	実施者			
	検査日 ※3			
	結果	陰性・陽性		
HA亜型 遺伝子 検査	実施者			
	検査日 ※3			
	結果	H5,H7,その他		
病原性 遺伝子検査	実施者			
	検査日 ※3			
	結果	高・低・その他		
野鳥監視重 点区域	指定日			
	解除日			
備考 ※4	死体発見時 1 m間隔で 2 羽発見			

※1 鳥の状態は、衰弱/死亡の別、外傷、死亡野鳥の損傷、腐敗等の状態を記入する。

※2 スワブ採取場所（クロアカ採取の場合：C欄に1、気管採取の場合：T欄に1、採取しなければ0）を記入する。

※3 検査日は、結果が確定した日。

※4 備考には、複数の鳥が死亡していた場合には、相互の距離や散乱状況を、また発見時点あるいはその前に特段の気象情報があれば記載する。